

令和7年の火災・救急件数等について

令和7年中の小田原市消防本部管内（小田原市、南足柄市及び足柄上郡5町）の火災、救急及び119番通報の件数は次のとおりです。

1 火災概要

令和7年中の火災件数は93件で、令和6年の107件から14件減少しています。また、過去10年間の平均火災件数は約88.6件となります。

	火災件数 (件)	建物火災件数 (件)	焼損棟数 (棟)	焼損面積 (m ²)	り災世帯 (世帯)
令和3年	90	44	62	1,644	44
令和4年	99	54	89	1,635	53
令和5年	96	49	70	1,313	41
令和6年	107	51	62	2,150	33
令和7年	93	46	46	684	41

火災件数を建物、車両及びその他の火災に分類すると、建物火災が46件と最も多く、全体の49%を占めています。

火災原因の件数

1位は「たき火」で25件

2位は「放火（疑いを含む）」で9件

3位は「タバコ」で6件となっています。

火災による死者は、3人（前年比2人減少）

負傷者は、8人で（前年比6人減少）となっています。

2 救急概要

令和7年中の救急出動件数は、20,636件で過去最多の出動件数となりました。

過去5年間の救急出動件数・搬送人員の推移

	出動件数	うち搬送人員	搬送人員の内訳			
			死亡	重症	中等症	軽症（軽症比率）
令和3年	15,340	13,272	294	1,143	6,673	5,162 (38.9%)
令和4年	18,632	15,236	279	1,239	7,532	6,186 (40.6%)
令和5年	19,763	16,004	275	1,305	7,521	6,903 (41.3%)
令和6年	20,044	16,424	285	1,216	8,251	6,670 (40.6%)
令和7年	20,636	16,768	295	1,255	8,121	7,097 (42.3%)

令和6年に比べ592件（3%）増加し、1日平均の出動件数は57件で約25分に1件の割合で救急出動したことになります。

搬送人員は、16,768人で令和6年に比べて344人（2%）増加しています。

原因別の搬送人員は、急病が10,109人（66%）、一般負傷が2,909人（17%）、交通事故が893人（5%）となっており、この3種の原因で全体の88.9%を占めています。

なお、搬送人員のうち入院を必要としない「軽症者」は、7,097人で全体の42.3%となっています。

令和7年は、夏の気温が高く酷暑だったことや、10月末からのインフルエンザの流行期もあり、救急件数が増加したと推測されます。また、高齢者の救急要請も年々多くなってきています。

3 119番通報受信状況

令和7年中の119番通報受信件数は、**26,821件**で前年と比べて1,323件（約5.2%）増加し、1日平均の受信件数は約73.5件でした。

また、携帯電話による119番通報は、16,900件（全体の約63.0%）でした。

